

**荒川太郎右衛門地区自然再生協議会**  
**第10回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録**

●平成27年10月5日（月）9:30～11:30、上尾市文化センター 305

**【議事結果】**

- ① 自然再生事業地が維持管理段階まで進んだ事例があるか確認する。また、公園化された事例があるか確認する。
- ② 都市林としての公園化の可能性はあるので、引き続き情報収集に努める。同時に、公園化とは別な在り方も並行して検討する。収集すべき情報についての要望は委員長・事務局に提示する。
- ③ 他事例で集めた資金がどのように活用されているかをもう少し情報収集する。
- ④ 外部オブザーバーと現地を歩き、その後に話を聞くような機会を作る。誰を候補とするか、いつ実施するかは今日の意見を踏まえて委員長・事務局で選定・調整する。それに先だって、協議会の委員にアンケートで「良いと思う場所」を挙げてもらう。
- ⑤ 当面の維持管理の試行について、今回の企画案を具体化する。日程などの詳細を委員長・事務局で具体化する。協議会の未承認企画であり、次回の協議会は12月頃になる予定であるため、メールによる提案・承認手続きを行う。
- ⑥ 管理用通路については、認定道路の情報が追加されたので、これを元に今後検討を進めていく。各委員とも出来るだけ現地を確認しておく。

**【主な議事内容】**

◎報告事項

●委員会の議事録

- ・ 質疑なし。

◎協議事項

●公園化について

- ・ 公園化の中で可能性がある都市林と国営公園について、手続きや管理・運営方法の情報は収集してあるのか。
  - 管理者がだれになるかによっても方法が異なるため現段階での情報収集は難しい。
- ・ 自然再生地で公園にした事例はあるのか。
  - 都市公園はおそらく無いと思われる。釧路などはもともとが国立公園の中で事業が実施されている。
  - 調べてみる。
- ・ 河川管理者は、自然再生事業に必要な管理が行えないということで、「公園化」の検討の話が出た。今回の整理で、可能性があるのは都市公園の都市林しかないことがわかった。ただ、都市林になったとしても、維持管理に必要な費用は確保できないことが想定される。指定管理者などとして受け皿になれる組織が必要である。
  - 協議会がイニシアチブを取れる体制であることが必要である。
  - 協議会が責任を持てる組織体制を整備して初めて可能となる。都市林とする場合は管理

者は県になるので、そこから指定管理者として受託することになる。これを実現するにはハードルは高いが、可能性はある。今の協議会組織では指定管理者の資格は取れないが、実績のあるメンバーが集まっているので、それらを活用した体制を組むことは可能と思われる。

→ NPO を立ち上げることにして、準備委員会を作ってはどうか。

→ どのような管理をどこまでやるのかの共通認識が必要である。

- ・ 都市林としての公園化の可能性はあるので、引き続き情報収集に努める。同時に、公園化とは別な在り方も並行して検討する。収集すべき情報についての要望は委員長・事務局に提示する。

#### ●維持管理の組織体制（資金確保事例）について

- ・ 他事例で集めた資金がどのように活用されているかをもう少し情報収集する。
- ・ 自然再生事業で維持管理段階まで進んだ事例は無いのか。
  - 調べてみる。
- ・ 阿蘇の野焼きの費用はどこから出ているのかわかるか。
  - 多くのボランティアが参加して実施しているが、野焼きの事務局の費用はかかっていると思定される。公表資料で可能な範囲で調べてみる。
- ・ 埼玉県には年間 24 万人の外国人が来訪しているらしい。こうした方々に太郎右衛門に足を運んでもらうための工夫もしたい。
  - 何を見てもらうのか考え、見てもらえるような整備が必要である。

#### ●外部オブザーバーについて

- ・ 観光業者の意見が聞きたい。薬用植物など、今までのメンバーには無かった視点もあるようだ。参考になる意見もならない意見もあるだろうが、今までに無かった視点が得られると良い。
- ・ 広大な草地・湿地で、それしか無いがそれが特徴だと思う。
  - もともとはサクラソウなどもあってもっと魅力的だったらしい。
  - 洪水で攪乱されるたびに出てきたのではないか。
  - 最近では洪水で攪乱されると外来種が入ってくるので困る。
  - 現状の「何も無い草地・湿地」の良さを考えてアピールしたい。人によってはこうした場所は「手入れされていない汚い場所」と感じてしまうようだが、そういう人を呼ぶことは考えなくて良いと思う。
- ・ 蛇行した三日月湖の景観と植生が特徴だと思う。そこをアピールするのが良いのではないか。
  - 延命地藏尊のところからの旧流路の眺めは良い。そういう場所を拾い出してつなげてデザインしていくと良い。
  - その上で、自分たちが気が付かないことを外部の人から教えてもらえると良い。
  - 協議会の中からも、「良いと思う場所」を挙げてもらってはどうか。
  - それらの情報を集めた上で、外部の方と現地を歩き、その後に話を聞くような機会を作る。誰を候補とするか、いつ実施するかは今日の意見を踏まえて委員長・事務局で選定・調整する。
  - 三ツ又沼とサクラソウトラスト地もあわせて見て欲しい。

- 周辺の地域情報も整理しておく。
- 三ツ又沼では地域の古老の話を伺ったが、いろいろな情報が得られて良かった。同じようなことをやるのも良いと思う。

●当面の維持管理の試行

- ・ 前回の資料・意見を踏まえた今回の企画案を具体化する。
  - 10/24 のイベント参加者や花火大会の運営の方にも声をかけたい。
  - 企画については日程などの詳細を委員長・事務局で具体化する。協議会の未承認企画であり、次回の協議会は12月頃になる予定であるため、メールによる提案・承認手続きを行う。
- ・ オオブタクサの刈り取りは10月頃でも効果があるので、来年度に実施したい。
- ・ クズ・菜の花類も駆除対象としたい。
- ・ 9/27 にモトクロス場跡地D整備地の植生管理を実施した。オオブタクサ、セイバンモロコシ、セイタカアワダチソウなどを駆除した。10/7 に再度実施するので可能な方は参加して欲しい。

●管理用通路の検討

- ・ 認定道路の情報が追加されたので、これを元に今後検討を進めていく。各委員とも出来るだけ現地を確認しておく。
  - 「国有地以外」について、公有地と民地の情報を確認して欲しい。

●その他

- ・ 次回の委員会は11/9（月）に開催する。

以上